

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C	令和7年3月6日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進					諏訪地域振興局	
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進						
実施機関	諏訪農業農村支援センター			担当課	所属	農業振興係	
事業名	浮漁礁設置に係る生物調査				電話	0266-57-2913(内線2364)	
					E-mail	suwa-nosei@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	令和5年度に設置した浮漁礁の効果を確認するため、魚介類の生息状況を確認する。					
	現状と課題	諏訪湖に生息する魚介類について、生息しやすい環境の修復を図るため、令和6年1月に諏訪湖内に浮漁礁を設置した。 この浮漁礁が実際に魚介類の生息にどの程度の影響を与えているか、効果を検証する必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	浮漁礁の設置場所において、魚介類の生息状況を確認するための調査を実施する。 (1) 場所: 諏訪市豊田地先(六斗川橋の河口付近) (2) 協力予定者: 諏訪湖漁業協同組合、水産試験場諏訪支場 (3) 調査方法 ・投網及びエビかごによる漁獲を毎月1回行い、生息している魚種、数量を調査 ・捕獲した魚介類は必要最小限の数を除き再放流する。ただし、外来魚は全て回収する。					
	事業期間	令和6年4月 ~ 令和7年2月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	生物調査	捕獲作業委託	132,000	@16,500円×8回			
	水鳥除去	テグス等資材購入	63,819				
	合 計		195,819				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	生息確認魚介類の種類数(外来魚除く)		4種以上	5種	☒ 達成 ☐ 一部達成 ☐ 未達成		
事業実績・成果	県民参加型予算により設置した人工浮漁礁の効果を確認するため、設置後の魚類の生息状況を月1回、投網により調査することとし、水生動物が浮漁礁に慣れると思われる設置半年後から実施した。 8月から調査を実施した結果、モツゴ、ヌマチチブ、テナガエビなど5種類の生息が確認できた。さらにこれらの魚種を捕食する外来魚も多く捕獲された。また、魚食性鳥類の休息場所として活用されてしまっている実態も確認された。 これらのことを踏まえ、水産試験場、諏訪湖漁業協同組合と検討した結果、人工浮漁礁は魚介類の住処としての効果は認められると推察された。 今後は、浮漁礁を住処として増えた魚介類について、カワウなど魚食性鳥類やブラックバスなどの外来魚から守る方策を検討する必要がある。						
今後の方向性	魚食性鳥類や外来魚の対策を講じながら、浮漁礁の効果を検証する必要があるため、引き続き生息状況調査を実施する。						